

全社連携で考える印刷業の未来と製品商品化の可能性



担当：鈴木

山梨県印刷工業組合（理事長 依田邦彦／組合員31名）は、令和7年6月26日（木）やまなし地域づくり交流センターで、株式会社セカンドプランニング事務所の三井雅一代表取締役を講師に迎え、「全社連携で考える印刷業の未来と製品商品化の可能性」をテーマに講習会を開催した。

今回は中央会の組合等課題解決指導事業を活用したもので、若手経営者や後継者が会員である組合の青年部等呼びかけ、青年部会の会員等から12名が出席した。

近年、印刷業界を取り巻く経営環境は、印刷材料（印刷用紙やインキ・版材・溶剤など）の価格高騰やデジタル化・ペーパーレス化の潮流、ネット印刷の台頭などによって、中小印刷事業者の組合員は厳しさを増している。組合員は自社の印刷設備や技術・デザイン力を活かした製品（特殊印刷など）・サービスの提供や新規事業（デジタルコンテ



株式会社セカンドプランニング事務所
三井代表取締役

ンツ製作など）に取り組んでいるが、個々の企業努力・経営資源には限りがある。

講習会では、組合青年部会として新しいビジネスモデルを創出するため組合員同士の連携（不足する設備・技術力を補うなど）によって新製品・サービスを創出するための考え方・手法、業界の動向や強み・機会等を説明、新規組合事業の立ち上げを視野に入れワークショップ形式で取り組み、参加者から実現性・具体性のある企画の検討を行うため各班において意見交換を行った。各班からは、インバウンド向けの旅の思い出アルバム作成事業、漢字のTシャツプリントサービス事業、掛け軸体験サービス事業等、組合の将来を担う青年部会ならではの新しいビジネスモデルについてアイデアが挙げられ積極的な意見交換が行われた。今後は各地域部会で検討を進め、次回の講習会ではブラッシュアップを行い、実現化まで進めていく方向性である。

